

令和7年度 全国・県学力学習状況調査より

津山市立中道中学校

4月17日(木)に行われた全国・県学力学習状況調査の結果を基に、本校で分析した内容をお知らせします。

【全国・県学力調査結果】

学 年	1 年 生 (県)			2 年 生 (県)			3 年 生 (全国)		
教 科	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	理科 平均 正答数
中 道	63.7	63.5	80.9	62.4	50.9	47.6	52	50	2.7/6
全国・県平均	64.5	66.8	81.4	65.0	53.6	51.3	54.3	48.3	2.9/6

【全国・県学習状況調査結果】

	1 年 生	県平均	2 年 生	県平均	3 年 生	全国 平均
将来の夢や目標を持っている。	85.8	82.1	64.2	70.7	72.2	67.5
授業では課題解決に向けて、 自分で考え、取り組んでいた。	75.1	76.3	72.7	74.6	85.5	77.7
授業で PC・タブレットなどの ICT 機器を週 3 回以上使用した。	71.7	67.6	83.1	69.6	89.7	53.2
平日、家庭での学習時間が 1 時間以上。	37.6	53.1	51.5	49.3	58.8	61.6
平日、家庭でのスマートフォンなどによる SNS や動画視聴の時間が 2 時間未満。	36.7	44.9	32.7	38.7		

【成果とその要因】

- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着に重点を置き、計画的に課題の大きい分野に対する学び直しの時間を確保した結果、3年生の数学の正答率が向上し、全国平均を上回った。
- ・校内研究を通して、ICT を活用した授業改善を組織的に行ったことにより、授業における ICT 機器の使用の割合が高くなり、全学年で全国・県平均を大きく上回った。
- ・「目標や夢を持っている」生徒の割合が全体的に高く、特に 1、3 年生では全国・県平均より高くなった。

【課題】

- ・問題文から与えられた条件を正しく読み取るなどの読解力に関する問題の正答率が低い傾向がみられた。
- ・平日、家庭でのスマートフォンなどの使用時間が長く、家庭学習の時間が少ない傾向がみられた。

【今後の具体的な取り組み】

- ・これまでも読解力の向上を目指し、「よむ YOMU ワークシート」等に取り組んでいるが、その活用法の改善や教科横断的なグラフ等の読み取りに焦点を当てた授業改善を、校内研究を通して進める。
- ・家庭学習の充実のため、全学年共通の取り組みを策定・実施する。実施後は成果と課題を検証し、継続的に改善を行い、取り組みの定着を目指す。
- ・中道中学区小中学校では、「話をきく力」の育成に取り組み、加えて、算数・数学の共同研究を進める。

※12月5日(金)には、1・2年生で「学力定着状況確認テスト」が行われます。結果の分析については、2月に学校評価アンケートの結果とともにお知らせします。また、11月4日(火)には、全学年で自己診断テストを予定しています。学力定着のためにも家庭学習の声掛けなど、ご家庭でもご協力お願いいたします。